

令和5年度生駒市立病院事業計画書  
説明資料

## 目次

診療科目	1
病床数	3
人員体制	5
患者数	7
質の高い医療の提供	9
地域完結型の医療体制構築への寄与	15
救急医療の充実	19
小児医療の充実	23
災害時医療の確保	23
予防医療の啓発	23
市民参加による運営	25
環境に配慮した運営	25
収支	27



病院事業計画(平成27年11月改定)		令和3年度 事業報告	令和4年度 中間報告
診療科目	14 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科	16 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科  診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前 9:00～12:00 夕方 17:00～19:00(土曜日除く) ・受付時間 午前 8:00～12:00 夕方 16:30～19:00(土曜日除く)	16 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科  診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前 9:00～12:00 夕方 17:00～19:00(土曜日除く) ・受付時間 午前 8:00～12:00 夕方 16:30～19:00(土曜日除く)
	上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとします。	・既存の診療科について、常勤医師(令和3年4月に小児科1名、6月には脳神経外科1名)の確保を図りました。 さらに、院内の診療科間の連携を深め、より高次、専門性の高い医療機関との連携体制(脳神経外科、心臓血管外科等における近畿大学奈良病院や奈良県総合医療センターとの連携体制)を推進しました。	・既存の診療科について、常勤医師(令和4年4月に小児科、内科、形成外科、腎臓泌尿器科)の確保を図りました。 さらに、院内の診療科間の連携を深め、より高次、専門性の高い医療機関との連携体制(脳神経外科、心臓血管外科等における近畿大学奈良病院や奈良県総合医療センターとの連携体制)を推進しました。

課題等	令和5年度 生駒市立病院 事業計画
<p>○令和3年度実施状況調査 高次医療機関と連携し、多種多様な専門外来の開設を検討することで、内科等の専門領域を広げていく必要がある。</p> <p>●令和4年度中間報告 全体的にペイン外来、小児アレルギー外来以外は令和3年度よりも診療件数が落ちており、アフターコロナを見据えた受診動向を把握しておく必要がある。</p>	<p>17 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 リウマチ科 皮膚科</p> <p>診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前 9:00～12:00 夕方 17:00～19:00(土曜日除く) ・受付時間 午前 8:00～12:00 夕方 16:30～19:00(土曜日除く)</p> <p>・既存の診療科の医療内容の充実を目指し、常勤医師を確保し、専門外来の充実を図ります。</p> <p>・院内の診療科間の連携及びより高次、専門性の高い医療機関との連携を進めます。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 3 年度 事業報告	令和 4 年度 中間報告
病床数	病床数 210 床	(令和 4 年 3 月 31 日) 病床数 210 床	(令和 4 年 9 月 30 日) 病床数 210 床
	ICU 7 床 小児科 20 床 産婦人科 20 床 内科系 79 床 外科系 84 床	小児科 5 床 産婦人科 19 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 8 床	小児科 5 床 産婦人科 19 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 8 床
		病棟編成 5 病棟、 7 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU)	病棟編成 5 病棟、 7 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU)
		<p>・救急患者の積極的な受け入れをはじめ、病床利用率の向上に向け、入院医療に対応できる脳神経外科等の常勤医師を確保しました。また、地域医療機関との連携強化による紹介患者の受け入れに取り組みました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症患者及び疑似症患者の入院受け入れのための感染症病床として、年度当初の感染症患者用病床 12 床及び疑似症患者用病床 4 床の確保から、令和 4 年 3 月 31 日現在では感染症患者用病床 26 床及び疑似症患者用病床 1 床に拡大し、受入体制を充実しました。</p> <p>・小児科の常勤医師を 1 名増員したことにより、令和 3 年 10 月から北和小児科二次輪番体制へ月 1 回参加しています。</p>	<p>・救急患者の積極的な受け入れをはじめ、病床利用率の向上に向け、入院医療に対応できるよう内科等の常勤医師を確保しました。また、地域医療機関との連携強化による紹介患者の受け入れに取り組みました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症患者及び疑似症患者の入院受け入れのための感染症病床として、20 床から最大 28 床までコロナ感染状況に応じて受入体制を整備しました。</p> <p>・令和 3 年度に引き続き、北和小児科二次輪番体制へ月 1 回参加しています。</p>

課題等	令和5年度 生駒市立病院 事業計画
<p>○令和3年度実施状況調査            病床利用率が低い原因は、従来からの整形外科や脳神経外科の常勤医師の不足によることに加え、5階西病棟52床のコロナ専用病棟化による休止病床の発生で実質的に稼働可能病床数が減少したことから、引き続き不足する診療科の常勤医師の確保に努めるとともに、コロナ感染拡大収束後の感染再拡大を含む新たな感染症への体制を確保しつつ、一般の入院診療体制を維持するための体制づくりを検討する必要がある。</p> <p>●令和4年度中間報告            コロナ専用病床については、確保病床数に対して稼働病床数が低下しつつあることから、コロナ収束を見据えた柔軟な病棟運用が必要である。</p> <p>【参考値】            R4年4月～R5年1月            1日平均病床利用率 56.7%</p>	<p>(令和6年3月31日)            病床数 210床</p> <p>小児科 5床            産婦人科 19床            内科系 87床            外科系 91床            HCU 8床</p> <p>病棟編成            5病棟、 7対1看護基準(一般)            4対1看護基準(HCU)</p> <p>・救急患者の積極的な受け入れをはじめ、病床利用率の向上に向け、入院医療に対応できる常勤医師の確保、地域医療機関との連携強化による紹介患者の受け入れに取り組みます。  <u>なお、新型コロナウイルス感染症患者及び疑似症患者の入院受け入れのための病床については、国・県の動向や感染状況などを踏まえ、柔軟に運用を行います。</u></p> <p>・小児科の救急医療や入院医療の体制を充実させ、引き続き、奈良県と情報交換をしながら、北和小児科二次輪番体制に寄与します。</p>

病院事業計画(平成27年11月改定)		令和3年度 事業報告	令和4年度 中間報告																																																																																																																																																																													
人員体制	<p>人員体制については、開院当初は、1日平均想定患者数(外来300名、入院140名と仮定)による医療法規定人員数に基づき、次のとおり整えます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>医師</td><td>25名</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>80名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>6名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td rowspan="4">3名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td></tr> <tr><td>放射線技師</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>7名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>2名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>29名</td></tr> <tr><td>事務職員他</td><td>40名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>198名</td></tr> </tbody> </table>	職種	人数	医師	25名	看護師	80名	薬剤師	6名	理学療法士	3名	作業療法士	言語聴覚士	放射線技師	検査技師	7名	栄養士	2名	看護助手	29名	事務職員他	40名	合計	198名	<p>(令和4年3月31日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>常勤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="17">医師</td><td>内科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>外科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>4名</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>22名</td></tr> <tr><td rowspan="5">看護師</td><td>外来部門</td><td>45名</td></tr> <tr><td>入院部門</td><td>96名</td></tr> <tr><td>内) 准看護師</td><td>2名</td></tr> <tr><td>内) 助産師</td><td>16名</td></tr> <tr><td>内) 保健師</td><td>0名</td></tr> <tr><td>計</td><td>141名</td></tr> <tr><td rowspan="10">その他</td><td>薬剤師</td><td>14名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>11名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>1名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>7名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>12名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>19名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>7名</td></tr> <tr><td>事務職員等</td><td>54名</td></tr> <tr><td>計</td><td>131名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>294名</td></tr> </tbody> </table> <p>○医療従事者の確保の方法について (医師の確保) 常勤医師に関しては、グループ内転勤により脳神経外科1名、産婦人科1名、勤務希望者の募集により小児科1名、医局人事により形成外科1名が入職しました。 医師事務作業補助者を増員したことにより、医師の業務負担軽減のための勤務環境改善の取組を行いました。 (看護師、医療スタッフ等の確保) ・入院部門看護師の増員により、日勤帯のみならず深夜時間帯を含めてさらなる看護ケアの充実を図りました。 ・学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行いました。 ・研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に取り組みました。 ・多職種によるチーム医療を充実させるため、各部門の責任者による運営会議での病院の運営に係る話し合いの他、負担軽減会議において、医師及び看護師の業務負担軽減についても話し合いました。</p>		常勤	医師	内科	1名	消化器内科	1名	循環器内科	2名	外科	3名	脳神経外科	1名	整形外科	0名	形成外科	2名	小児科	3名	腎臓泌尿器科	1名	産婦人科	4名	リハビリテーション科	0名	放射線科	0名	救急科	1名	麻酔科	2名	血管外科	0名	皮膚科	1名	計	22名	看護師	外来部門	45名	入院部門	96名	内) 准看護師	2名	内) 助産師	16名	内) 保健師	0名	計	141名	その他	薬剤師	14名	理学療法士	11名	作業療法士	1名	言語聴覚士	3名	放射線技師	7名	検査技師	12名	栄養士	3名	看護助手	19名	臨床工学技士	7名	事務職員等	54名	計	131名	合計	294名	<p>(令和4年9月30日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>常勤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="17">医師</td><td>内科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>外科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>4名</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>23名</td></tr> <tr><td rowspan="5">看護師</td><td>外来部門</td><td>52名</td></tr> <tr><td>入院部門</td><td>100名</td></tr> <tr><td>内) 准看護師</td><td>2名</td></tr> <tr><td>内) 助産師</td><td>18名</td></tr> <tr><td>内) 保健師</td><td>0名</td></tr> <tr><td>計</td><td>152名</td></tr> <tr><td rowspan="10">その他</td><td>薬剤師</td><td>14名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>12名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>1名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>9名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>12名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>4名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>19名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>7名</td></tr> <tr><td>事務職員他</td><td>65名</td></tr> <tr><td>計</td><td>146名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>321名</td></tr> </tbody> </table> <p>○医療従事者の確保の方法について (医師の確保) 常勤医師の入職に関して ・グループ内転勤 1名 ・勤務希望者の募集 2名 ・医局人事 2名 医師事務作業補助者を増員したことにより、医師の業務負担軽減のための勤務環境改善の取組を行いました。 (看護師、医療スタッフ等の確保) ・日勤帯のみならず深夜時間帯を含めてさらなる看護ケアの充実を図りました。 ・学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行いました。 ・研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に取り組みました。 ・多職種によるチーム医療を充実させるため、各部門の責任者による運営会議での病院の運営に係る話し合いの他、負担軽減会議において、医師及び看護師の業務負担軽減についても話し合いました。</p>		常勤	医師	内科	2名	消化器内科	1名	循環器内科	2名	外科	3名	脳神経外科	1名	整形外科	0名	形成外科	1名	小児科	4名	腎臓泌尿器科	2名	産婦人科	3名	リハビリテーション科	0名	放射線科	0名	救急科	1名	麻酔科	2名	血管外科	0名	皮膚科	1名	計	23名	看護師	外来部門	52名	入院部門	100名	内) 准看護師	2名	内) 助産師	18名	内) 保健師	0名	計	152名	その他	薬剤師	14名	理学療法士	12名	作業療法士	1名	言語聴覚士	3名	放射線技師	9名	検査技師	12名	栄養士	4名	看護助手	19名	臨床工学技士	7名	事務職員他	65名	計	146名	合計	321名
	職種	人数																																																																																																																																																																														
	医師	25名																																																																																																																																																																														
	看護師	80名																																																																																																																																																																														
薬剤師	6名																																																																																																																																																																															
理学療法士	3名																																																																																																																																																																															
作業療法士																																																																																																																																																																																
言語聴覚士																																																																																																																																																																																
放射線技師																																																																																																																																																																																
検査技師	7名																																																																																																																																																																															
栄養士	2名																																																																																																																																																																															
看護助手	29名																																																																																																																																																																															
事務職員他	40名																																																																																																																																																																															
合計	198名																																																																																																																																																																															
	常勤																																																																																																																																																																															
医師	内科	1名																																																																																																																																																																														
	消化器内科	1名																																																																																																																																																																														
	循環器内科	2名																																																																																																																																																																														
	外科	3名																																																																																																																																																																														
	脳神経外科	1名																																																																																																																																																																														
	整形外科	0名																																																																																																																																																																														
	形成外科	2名																																																																																																																																																																														
	小児科	3名																																																																																																																																																																														
	腎臓泌尿器科	1名																																																																																																																																																																														
	産婦人科	4名																																																																																																																																																																														
	リハビリテーション科	0名																																																																																																																																																																														
	放射線科	0名																																																																																																																																																																														
	救急科	1名																																																																																																																																																																														
	麻酔科	2名																																																																																																																																																																														
	血管外科	0名																																																																																																																																																																														
	皮膚科	1名																																																																																																																																																																														
	計	22名																																																																																																																																																																														
看護師	外来部門	45名																																																																																																																																																																														
	入院部門	96名																																																																																																																																																																														
	内) 准看護師	2名																																																																																																																																																																														
	内) 助産師	16名																																																																																																																																																																														
	内) 保健師	0名																																																																																																																																																																														
計	141名																																																																																																																																																																															
その他	薬剤師	14名																																																																																																																																																																														
	理学療法士	11名																																																																																																																																																																														
	作業療法士	1名																																																																																																																																																																														
	言語聴覚士	3名																																																																																																																																																																														
	放射線技師	7名																																																																																																																																																																														
	検査技師	12名																																																																																																																																																																														
	栄養士	3名																																																																																																																																																																														
	看護助手	19名																																																																																																																																																																														
	臨床工学技士	7名																																																																																																																																																																														
	事務職員等	54名																																																																																																																																																																														
計	131名																																																																																																																																																																															
合計	294名																																																																																																																																																																															
	常勤																																																																																																																																																																															
医師	内科	2名																																																																																																																																																																														
	消化器内科	1名																																																																																																																																																																														
	循環器内科	2名																																																																																																																																																																														
	外科	3名																																																																																																																																																																														
	脳神経外科	1名																																																																																																																																																																														
	整形外科	0名																																																																																																																																																																														
	形成外科	1名																																																																																																																																																																														
	小児科	4名																																																																																																																																																																														
	腎臓泌尿器科	2名																																																																																																																																																																														
	産婦人科	3名																																																																																																																																																																														
	リハビリテーション科	0名																																																																																																																																																																														
	放射線科	0名																																																																																																																																																																														
	救急科	1名																																																																																																																																																																														
	麻酔科	2名																																																																																																																																																																														
	血管外科	0名																																																																																																																																																																														
	皮膚科	1名																																																																																																																																																																														
	計	23名																																																																																																																																																																														
看護師	外来部門	52名																																																																																																																																																																														
	入院部門	100名																																																																																																																																																																														
	内) 准看護師	2名																																																																																																																																																																														
	内) 助産師	18名																																																																																																																																																																														
	内) 保健師	0名																																																																																																																																																																														
計	152名																																																																																																																																																																															
その他	薬剤師	14名																																																																																																																																																																														
	理学療法士	12名																																																																																																																																																																														
	作業療法士	1名																																																																																																																																																																														
	言語聴覚士	3名																																																																																																																																																																														
	放射線技師	9名																																																																																																																																																																														
	検査技師	12名																																																																																																																																																																														
	栄養士	4名																																																																																																																																																																														
	看護助手	19名																																																																																																																																																																														
	臨床工学技士	7名																																																																																																																																																																														
	事務職員他	65名																																																																																																																																																																														
計	146名																																																																																																																																																																															
合計	321名																																																																																																																																																																															



課題等

令和5年度 生駒市立病院 事業計画

○令和3年度実施状況調査

入院医療を充実させるため、引き続き不足する内科、整形外科、放射線科の常勤医師、薬剤師を確保する必要がある。

令和6年度からの働き方改革の適用も視野に、医師事務作業補助者をさらに増員し、コメディカルによるタスクシフトの取組やICTの活用により、医師の業務軽減を推進する必要がある。

●令和4年度中間報告

入院医療をさらに充実させるため、従来からの課題である内科、整形外科等の常勤医師の不足を解消するための取組を進める必要がある。

令和6年度からの働き方改革の適用も視野に、医師事務作業補助者をさらに増員し、コメディカルによるタスクシフトの取組やICTの活用により、医師の業務軽減を推進する必要がある。

【参考値】

R5年1月31日現在(常勤医師数)

	常勤
内科	2名
消化器内科	1名
循環器内科	2名
外科	3名
脳神経外科	1名
整形外科	0名
形成外科	1名
小児科	3名
腎臓泌尿器科	2名
産婦人科	3名
リハビリテーション科	0名
放射線科	0名
救急科	0名
麻酔科	2名
血管外科	0名
皮膚科	1名
計	21名

R5年1月31日現在

医師	21名
看護師	150名
その他	139名
合計	310名

(令和6年3月31日)

	常勤	
医師	内科	3名
	消化器内科	1名
	循環器内科	2名
	外科	3名
	脳神経外科	1名
	整形外科	1名
	形成外科	2名
	小児科	3名
	腎臓泌尿器科	2名
	産婦人科	4名
	リハビリテーション科	0名
	放射線科	0名
	救急科	0名
	麻酔科	3名
	血管外科	(注1) 0名
	リウマチ科	(注2) 0名
	皮膚科	1名
計	26名	
看護師	外来部門	47名
	入院部門	109名
	内) 准看護師	2名
	内) 助産師	17名
	内) 保健師	0名
計	156名	
その他	薬剤師	14名
	理学療法士	13名
	作業療法士	0名
	言語聴覚士	2名
	放射線技師	10名
	検査技師	13名
	栄養士	4名
	看護助手	16名
	臨床工学技士	7名
	事務職員他	59名
計	138名	
合計	320名	

(注1) 血管外科は、循環器内科医が兼務。

(注2) リウマチ科は、整形外科医が兼務。

○医療従事者の確保の方法について

(医師の確保)

特に常勤医師が不足している整形外科等の常勤医師の確保、増員を図り、入院医療を充実させます。

医師事務作業補助者を増員し、医師の業務負担の軽減を図るなど、医師の働き方改革の取組として、引き続き、勤務環境の改善を行います。

(看護師、医療スタッフ等の確保)

・引き続き、学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行います。

・研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に継続して取り組みます。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 3 年度 事業報告			令和 4 年度 中間報告				
患者数		1 日平均患者数			1 日平均患者数				
			入院	外来 (ワクチン 接種者除く)	外来 (ワクチン 接種者含む)		入院	外来 (ワクチン 接種者除く)	外来 (ワクチン 接種者含む)
		4月	111.1人	211.3人	229.9人	4月	117.7人	239.7人	267.6人
		5月	112.4人	202.5人	230.7人	5月	98.7人	245.8人	277.3人
		6月	98.3人	222.0人	282.8人	6月	87.3人	253.7人	278.7人
		7月	84.6人	217.1人	298.5人	7月	117.2人	302.4人	339.1人
		8月	103.8人	235.6人	319.3人	8月	134.3人	283.7人	343.4人
		9月	108.1人	228.9人	308.4人	9月	126.8人	253.1人	281.5人
		10月	93.3人	235.8人	288.1人	平均	113.7人	263.3人	298.3人
		11月	85.8人	271.0人	285.5人				
		12月	91.2人	246.1人	259.0人				
		1月	125.4人	247.0人	264.8人				
		2月	118.6人	271.8人	335.7人				
		3月	147.2人	245.5人	288.4人				
		平均	106.6人	236.0人	282.2人				
		<p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組 入院医療に対応できる脳神経外科の常勤医師を確保し、救急を含む外来診療体制の維持のため、非常勤医師を確保しました。 また、コロナ禍においても救急患者を積極的に受け入れ、地域医療機関との病病・病診連携を推進し、さらに、広報活動やオンラインによる医療講演会を実施し、入院、外来患者数の増加を目指しました。 新型コロナウイルス感染症対策として、発熱外来(帰国者・接触者外来)の実施とワクチン接種を行いました。</p>			<p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組 入院医療に対応できる内科・小児科の常勤医師を確保し、救急を含む外来診療体制の維持のため、非常勤医師を確保しました。 また、コロナ禍においても救急患者を積極的に受け入れ、地域医療機関との病病・病診連携を推進し、さらに、広報活動やオンラインによる医療講演会を実施し、入院、外来患者数の増加を目指しました。 新型コロナウイルス感染症対策として、発熱外来や疑似症患者及び陽性患者の入院受入体制を継続し、市民へのワクチン接種を行いました。</p>				
		<p>※ワクチン接種者数(延べ人数) 令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月 ：合計 16,884 人 1 日平均接種者数 : 46.3 人</p>			<p>※ワクチン接種者数(延べ人数) 令和 4 年 4 月～令和 4 年 9 月 ：合計 6,405 人 1 日平均接種者数 : 35.0 人</p>				
		<p>(市民への周知の取組) ・広報委員によるホームページ、LINE 公式アカウント等のチェック、随時更新の実施 LINE 公式アカウント登録者数 1,084 人(令和 4 年 3 月 31 日現在) 〈LINE 公式アカウントの掲載例〉 ・オンライン医療講演のお知らせ ・オンライン母親教室開催のお知らせ ・病院だより発刊 (令和元年 8 月以降、毎月 600 部発刊) ・医療講演会(オンライン) 40 講座 参加者 736 名</p>			<p>(市民への周知の取組) ・広報委員によるホームページ、LINE 公式アカウント等のチェック、随時更新の実施 LINE 公式アカウント登録者数 1,249 人(令和 4 年 9 月 30 日現在) 〈LINE 公式アカウントの掲載例〉 ・オンライン医療講演のお知らせ ・オンライン母親教室開催のお知らせ ・病院だより発刊 (令和元年 8 月以降、毎月 600 部発刊) ・医療講演会 20 講座 参加者 305 名 (内、生駒市医師会や自治会等各種団体への出張講座 3 講座 参加者 71 名含む)</p>				
		<p>(地域の医療機関への周知の取組) ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 2,143 件、263 施設 (令和 2 年度 3,024 件、258 施設) ・低侵襲治療講演会 ・心不全・弁膜症の低侵襲治療講演会 6/17 49 名参加 (内オンライン 30 名) ・新生児蘇生法講習会(NCPR) 10/9 12 名参加 ・病診連携懇話会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p>			<p>(地域の医療機関への周知の取組) ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 690 件、252 施設 (令和 3 年度上半期 1,198 件、257 施設)</p>				

課題等

令和5年度 生駒市立病院 事業計画

○令和3年度実施状況調査

患者数の増加を目指し、特に、内科、小児科では、専門外来の設置などそれぞれ診療領域を広げていくこと、また、整形外科、脳神経外科では、常勤医師を確保することで外傷などに対応できる体制を整備する必要がある。

小児科の常勤医師を増員したにもかかわらず、小児科の入院及び外来患者数が伸びていないため、小児科医師が市内の小児科診療所を訪問し、顔の見える関係性を構築するとともにLINE公式アカウント等様々な広報手段を活用しながら、医療体制等、より一層市民へのPRを強化する必要がある。

●令和4年度中間報告

1日平均入院患者数が計画を下回っており、引き続き、新型コロナウイルス感染症対応と一般診療とを両立しながら、地域の医療機関との病病連携及び病診連携をより一層進め、一般診療の更なる充実を図る必要がある。

LINE公式アカウントを活用した積極的な情報発信など市民に親しみやすい病院としてPRする必要がある。

【参考値】

R4年4月～R5年1月

1日平均患者数

入院	119.0人
外来（ワクチン接種者除く）	262.8人
外来（ワクチン接種者含む）	298.3人

1日平均患者数

	入院	外来(※)
4月	143.0人	229.0人
5月	135.0人	237.0人
6月	139.0人	249.0人
7月	140.0人	264.0人
8月	145.0人	260.0人
9月	145.0人	245.0人
10月	147.0人	229.0人
11月	145.0人	234.0人
12月	150.0人	254.0人
1月	149.0人	257.0人
2月	148.0人	246.0人
3月	149.0人	235.0人
年間平均	144.6人	245.0人

(※) 外来は、ワクチン接種者を除く。

○入院・外来患者数の増加に向けた取組

入院医療に対応できる常勤医師の確保、地域の医療機関との病病・病診連携の推進及び救急患者の確実な受け入れのほか、積極的に広報活動や医療講演会を実施することにより、入院・外来患者数の増加を目指します。

新型コロナウイルス感染症対策として、国・県の動向や感染状況などを踏まえ、発熱外来や疑似症患者及び陽性患者の入院受入に対応します。また、市と連携し、ワクチン接種を実施します。

(市民への周知の取組)

- ・院内の広報委員会による広報活動の強化
- ・ホームページ、LINE公式アカウント、病院だより等による広報活動の推進
- ・医療講演会（自治会等各種団体への出張講座含む）の推進

(地域の医療機関への周知の取組)

- ・地域医療連携室による地域の医療機関への積極的な情報提供を推進します。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業報告	令和 4 年度 中間報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○質の高い医療の提供 生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。</p>	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、入院診療計画策定時から多職種が参加して最適な治療方法を策定するなど、チーム医療を実施しました。</p> <p>DPC 対象病院として、診療の標準化、透明化及び診療の質の向上を図りました。腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術、ダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。</p> <p>また、患者の意見を可能な限り尊重したうえで、患者の思いに寄り添った医療サービスの提供を目指しました。</p> <p>○医療サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手術件数（全体） 1,253 件 <ul style="list-style-type: none"> <li>外科 335 件</li> <li>形成外科 680 件</li> <li>腎臓泌尿器科 110 件</li> <li>産婦人科 103 件</li> <li>血管外科 20 件</li> <li>皮膚科 2 件</li> <li>放射線科 3 件</li> </ul> </li> <li>・分娩件数 164 件</li> <li>・オンライン母親教室開催 院内健診を受けている妊婦を対象に新生児ケアについて月 2 回オンラインで開催 参加者数（延べ人数）136 人</li> <li>・産科交流会（オンライン） 12/16 実施 参加者 37 名</li> <li>・市の産後ケア事業へ参加しました。 サポート人数 3 人 （院内において出産直後にショートステイを利用）</li> <li>・医療機器等の整備 新型コロナウイルス感染症陽性患者等への対応のため、高度医療機器の整備を行いました。</li> </ul> <p>（導入機器）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・超音波診断装置 Aplio</li> <li>・内視鏡手術システム</li> <li>・等温遺伝子増幅装置増設</li> <li>・全自動化学発光酵素免疫測定システム ルミパルス G600 II</li> <li>・セントラルモニタ CNS-6201</li> <li>・ベッドサイドモニタ PVM-4761 2 台</li> </ul>	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、入院診療計画策定時から多職種が参加して最適な治療方法を策定するなど、チーム医療を実施しました。</p> <p>DPC 対象病院として、診療の標準化、透明化及び診療の質の向上を図りました。腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術、ダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。</p> <p>また、患者の意見を可能な限り尊重したうえで、患者の思いに寄り添った医療サービスの提供を目指しました。</p> <p>○医療サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手術件数（全体） 603 件 <ul style="list-style-type: none"> <li>外科 169 件</li> <li>形成外科 261 件</li> <li>腎臓泌尿器科 66 件</li> <li>産婦人科 80 件</li> <li>血管外科 15 件</li> <li>皮膚科 0 件</li> <li>放射線科 3 件</li> <li>整形外科 9 件</li> </ul> </li> <li>・分娩件数 149 件</li> <li>・オンライン母親教室開催 院内健診を受けている妊婦を対象に新生児ケアについて月 2 回オンラインで開催 参加者数（延べ人数）33 人 7 月以降は YouTube 配信</li> <li>・産科交流会（オンライン） 下半期に開催予定</li> <li>・市の産後ケア事業へ参加しました。 サポート人数 3 人 （院内において出産直後にショートステイを利用）</li> <li>・医療機器等の整備 腹腔鏡下手術及び内視鏡下手術増加のため新規医療機器を整備しました。</li> </ul> <p>（導入機器）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大腸ビデオスコープ CF-HQ290ZI</li> <li>・腎盂尿管ビデオスコープ URF-V3</li> </ul>

課題等	令和5年度 生駒市立病院 事業計画
<p>○令和3年度実施状況調査 腹腔鏡下手術の件数が増加傾向にあるが、今後もさらに患者への身体的負担が少ない低侵襲手術を推進する必要がある。</p> <p>●令和4年度中間報告 様々な手術において患者の身体的負担が少ない低侵襲手術の実績を有する点を広くPRする必要がある。</p> <p>【参考値】 R4年4月～R5年1月 手術件数 949件 分娩件数 230件</p>	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとって最適な治療・ケアを行います。</p> <p>DPC対象病院として、診療の標準化、透明化及び診療の質の向上を図ります。また、医療体制をさらに高度なものとするため、第三者に評価してもらう病院機能評価を受審します。</p> <p>引き続き、高齢者の医療需要にも対応するため、<u>腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組むと共に、広くPRしていきます。</u></p> <p>患者アンケートやご意見箱の内容を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。</p> <p>○医療サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手術件数（全体） 1,270件 <ul style="list-style-type: none"> <li>外科 350件</li> <li>整形外科 100件</li> <li>形成外科 500件</li> <li>腎臓泌尿器科 150件</li> <li>産婦人科 150件</li> <li>血管外科 20件</li> </ul> </li> <li>・分娩件数 250件</li> </ul> <p>・母親教室はニーズに対応し、自由な時間に視聴できるYouTubeで継続して開催します。</p> <p>・産科交流会 母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。</p> <p>・市の産後ケア事業への参加を継続し、産後の授乳指導・育児相談や母子のケア等を行い、母親の育児等を支援します。</p> <p>・奈良県総合医療センターの連携施設として、非侵襲性出生前遺伝学的検査(NIPT)を行います。</p> <p>・産婦人科と小児科が連携することで、新生児、乳幼児に係る母子医療体制を整備・充実します。</p> <p>・医療機器等の整備 必要性、採算性などを検討の上、医療機器の整備を行います。</p> <p>(導入予定機器)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテサーバ更新</li> <li>・PACS(医療用画像管理システム)サーバ更新</li> <li>・動画サーバ更新</li> <li>・心電図ファイリング更新</li> </ul>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業報告	令和 4 年度 中間報告
	<p>主要疾病（4 疾病）に係る医療体制</p> <p><b>がん</b> 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制を確保しています。</p> <p><b>脳卒中</b> 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制を確保しています。</p> <p><b>急性心筋梗塞</b> 奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCI が 24 時間 365 日可能な体制を確保しています。</p> <p><b>糖尿病</b> 内科、循環器内科、形成外科及び血管外科において、かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療を実施しています。</p> <p>○患者満足度の向上について ・グループ全体で、令和 3 年度入院・外来患者アンケート調査を 10 月、11 月に実施 ・令和 3 年 8 月から、1 階において、案内係を増員し、窓口案内を円滑に実施し、患者を迅速に誘導できるよう努めました。</p> <p>・ご意見箱の内容に対応 ご意見箱の内容に対して、対応が必要な案件については、迅速に対応しました。</p> <p>令和 3 年度ご意見箱意見総数 入院 10 件、外来 9 件 合計 19 件</p> <p>・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。（回答総数 632 件）</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 4/2 新入職員向け接遇研修 朝礼において、職員対象に接遇向上の周知</p> <p>・院内における接遇委員会を月 1 回開催（看護部では月 1 回服装チェックなどを実施）</p> <p>・1 年次生の事務・コメディカル・救急救命士を対象とした他部署研修を実施</p>	<p>主要疾病（4 疾病）に係る医療体制</p> <p><b>がん</b> 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制を確保しています。</p> <p><b>脳卒中</b> 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制を確保しています。</p> <p><b>急性心筋梗塞</b> 奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCI が 24 時間 365 日可能な体制を確保しています。</p> <p><b>糖尿病</b> 内科、循環器内科、形成外科及び血管外科において、かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療を実施しています。</p> <p>○患者満足度の向上について ・グループ全体で、令和 4 年度入院・外来患者アンケート調査を 10 月、11 月に実施予定</p> <p>・ご意見箱の内容に対応 ご意見箱の内容に対して、対応が必要な案件については、迅速に対応しました。</p> <p>令和 4 年度上半期ご意見箱意見総数 入院 4 件、外来 6 件 合計 10 件</p> <p>・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。（回答総数 241 件）</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 4/2 新入職員向け接遇研修 朝礼において、職員対象に接遇向上の周知</p> <p>・院内における接遇委員会を月 1 回開催（看護部では月 1 回服装チェックなどを実施）</p> <p>・新規入職者の事務・コメディカル・救急救命士を対象とした他部署研修を実施</p>

課題等	令和5年度 生駒市立病院 事業計画
<p>○令和3年度実施状況調査 「入院・外来アンケート調査」において、患者満足度が低く、総合評価への影響が大きい項目については、今後、優先的に改善に取り組む必要がある。</p>	<p>主要疾病（4疾病）に係る医療体制</p> <p>がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実を図ります。</p> <p>脳卒中 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の充実を図ります。</p> <p>急性心筋梗塞 奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCIが24時間365日可能な体制の充実を図ります。</p> <p>糖尿病 かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療の充実を図ります。</p> <p>○患者満足度の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院・外来患者アンケート調査の実施（グループ全体：年1回）</li> <li>・退院時患者アンケート調査の実施</li> <li>・ご意見箱の内容に対応 アンケート調査結果やご意見箱の意見及び対応について、ホームページ等で公表し、市立病院管理運営協議会へ報告します。</li> <li>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 新人職員を対象とした接遇研修をはじめ、院内スタッフ対象の接遇研修を充実します。</li> <li>・院内における接遇委員会を定期的に開催し、接遇の向上を図ります。</li> <li>・事務・コメディカル・救急救命士を対象とした他部署研修を実施します。</li> </ul>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業報告	令和 4 年度 中間報告
<p>医療における安全管理に対する取組 ●安全管理マニュアルの策定について 各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。</p> <p>●医療事故に対する対応について 発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM（メディカルリスクマネジメント）委員会で分析したうえ、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行ないます。</p> <p>●院内感染対策について 感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的に開催し、感染症発生の監視、院内感染の監視、職員の管理（予防接種等）、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行ないます。</p>	<p>（医療安全管理体制について） 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修を実施しました。 さらに、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。</p> <p>・医療安全管理委員会、医療安全カンファレンスについて計画どおり実施しました。 ・医療安全勉強会 7/28 126 名 7/29 93 名 7/30 94 名 下半期は e-ラーニング 293 名 合計 606 名参加</p> <p>（医療事故に対する対応について） 医療事故発生時に備えて、日常から迅速・的確に対応できるよう体制整備に努めています。</p> <p>（院内感染対策について） 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みました。</p> <p>・院内感染対策委員会、ICT ラウンドについて計画どおり実施しました。 ・感染勉強会 7/28 126 名 7/29 93 名 7/30 94 名 下半期は e-ラーニング 298 名 合計 611 名参加</p> <p>・ICT 合同カンファレンス・院内感染対策に係る地域医療連携 6/22、9/14、12/7、2/8 (ZOOM にて開催)</p> <p>（新型コロナウイルス感染症対策） ・感染対策用として、計画的にマスク・消毒液等の備蓄を行いました。 備蓄数（令和 4 年 3 月 31 日現在） マスク 7,700 枚 消毒液 250ml 69 個等</p> <p>・非常勤医師等を含む全職員への院内感染対策を徹底しました。（常時マスク着用の徹底、PCR 検体採取時のマスク、ゴーグル、ガウン等個人防護具の装着の徹底）</p> <p>・新型コロナウイルス感染症に係る院内クラスターの発生について 期間（令和 4 年 1 月 21 日～2 月 27 日） 感染者数（職員 22 人・患者 20 人）</p>	<p>（医療安全管理体制について） 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修を実施しました。 さらに、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。</p> <p>・医療安全管理委員会、医療安全カンファレンスについて計画どおり実施しました。 ・医療安全勉強会 e-ラーニング 合計 296 名参加</p> <p>（医療事故に対する対応について） 医療事故発生時に備えて、日常から迅速・的確に対応できるよう体制整備に努めています。</p> <p>（院内感染対策について） 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みました。</p> <p>・院内感染対策委員会、ICT ラウンドについて計画どおり実施しました。 ・感染勉強会 10 月開催予定 ・ICT 合同カンファレンス 6/21 (ZOOM にて開催) 10/4、12/16、2/14 開催予定</p> <p>（新型コロナウイルス感染症対策） ・感染対策用として、計画的にマスク・消毒液等の備蓄を行いました。 備蓄数（令和 4 年 9 月 30 日現在） マスク 8,100 枚 消毒液 250ml 93 個等</p> <p>・非常勤医師等を含む全職員への院内感染対策を徹底しました。（常時マスク着用の徹底、PCR 検体採取時のマスク、ゴーグル、ガウン等個人防護具の装着の徹底）</p>



課題等	令和5年度 生駒市立病院 事業計画
<p>○令和3年度実施状況調査 今後も新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて、引き続き、奈良県をはじめとする関係機関と情報交換しながら、院内における感染管理をより一層徹底する必要がある。</p> <p>●令和4年度中間報告 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて、奈良県をはじめとする関係機関と情報交換しながら、院内における感染管理をより一層徹底し、感染拡大による医療機能の低下を防ぐ必要がある。</p>	<p>(医療安全管理体制について) 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。 また、医療安全に関する情報公開の方法等については、市立病院管理運営協議会で報告するなど、インシデント・アクシデントの包括的公表を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全管理委員会（毎月1回開催）</li> <li>・医療安全カンファレンス（毎週1回開催）</li> <li>・医療安全勉強会（年2回開催）</li> </ul> <p>(医療事故に対する対応について) 医療事故発生時は、引き続き、次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の安全確保と救命処置を最優先します。</li> <li>・病院内における事故等の報告を速やかに行います。</li> <li>・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。</li> <li>・重大な医療事故の場合は、保健所等関係機関へ速やかに報告・届出を行います。</li> <li>・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。</li> </ul> <p>(院内感染対策について) <u>院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組む、感染症のまん延期には、N95マスクの着用を徹底します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染対策委員会（毎月1回開催）</li> <li>・ICTラウンド（毎週1回開催）</li> <li>・感染勉強会（年2回開催）</li> <li>・ICT合同カンファレンス（年4回）</li> </ul> <p>・感染対策用として、マスク・消毒液等の備蓄を計画的に行います。</p> <p>・<u>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて、院内に専従の感染管理認定看護師を配置するなど、院内における感染管理をより一層徹底し、新型コロナウイルス感染症の状況に臨機応変に対応します。</u></p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業報告	令和 4 年度 中間報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○地域完結型の医療体制構築への寄与</p> <p>地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方連携と後方連携を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。</p> <p>地域医療の支援に対する取組</p> <p>●在宅支援機能の充実 地域連携パスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行いません。 また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪時に対応する処置、入院加療用として 5 床を確保します。</p> <p>●開放型病床の設置 地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。</p> <p>●地域医療機関への医療教育プログラムの提供 次の取組を検討し、段階的に実施します。 ・診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施</p> <p>・院内外の医療従事者に対する TCLS 又は AHABLS、AHAACLS トレーニング (ACLS に相当する指定管理者のプログラム)の継続的实施(2年に1回程度)</p> <p>・医療機関、救急隊との定期勉強会の実施(年2回程度)</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に努めました。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行いました。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図りました。 地域医療連携室において、紹介元の開業医が、紹介患者の電子カルテを閲覧できるスペースを設け、病診連携に努めました。 (令和 4 年 3 月 31 日現在) ・医療連携登録医 68 施設・83 名 ・協力医療機関連携施設 64 施設</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について</p> <p>・心不全・弁膜症の低侵襲治療講演会 6/17 49 名参加 (内オンライン 30 名)</p> <p>・新生児蘇生法講習会 (NCPR) 10/9 12 名参加</p> <p>・周産期救急講習会 (ALS0) は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p> <p>・病診連携懇話会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に努めました。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行いました。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図りました。 地域医療連携室において、紹介元の開業医が、紹介患者の電子カルテを閲覧できるスペースを設け、病診連携に努めました。 (令和 4 年 9 月 30 日現在) ・医療連携登録医 68 施設・83 名 ・協力医療機関連携施設 65 施設</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について</p> <p>・新生児蘇生法講習会 (NCPR) 9/25 10 名参加</p>

課題等	令和5年度 生駒市立病院 事業計画
<p>○令和3年度実施状況調査  今後は、コロナ禍で開催できていなかった病診連携懇話会を開催し、医療連携登録医をはじめ市内の診療所の先生方に参加いただき、情報共有や意見交換の場を提供していく。</p> <p>●令和4年度中間報告  コロナ収束を見据え、これまで実施を見送らざるをえなかった病診連携懇話会の開催など積極的に行っていく必要がある。</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に努めます。  <u>病診連携懇話会を開催し、地域医療従事者の情報共有、意見交換の場を提供します。</u></p> <p>○在宅支援機能の充実について  増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。  入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図ります。  地域医療連携室において、引き続き、紹介元の開業医が、紹介患者の電子カルテを閲覧できるスペースを設け、病診連携を推進します。</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について  地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講習会を実施します。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進します。</p> <p>・医療教育プログラム  新生児蘇生法講習会(NCPR)</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業報告	令和 4 年度 中間報告
<p>●周辺の他の医療機関との連携            新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放型病床の取組を進めます。            また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。            また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。</p> <p>●地域医療連携推進のための組織・体制及び方法の整備            院内に地域医療連携室を設置し、専任職員（看護師・MSW・介護職員等で構成）を配置します。            この専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズに応え、相互の紹介をはじめ診療情報等提供を行ないます。            また、今後、さらなる地域医療連携を推進するため、医師会等とも十分に協議しながら地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築に向けての検討を行います。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について            医師会への入会を目指し、毎月、市立病院の医療機能等の情報提供を続けました。            また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器の共同利用を実施しました。            市が開催する市内等医療機関との意見交換会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p> <p>・医療機器の共同利用件数            MRI 258 件（全利用件数 2,432 件）            CT 127 件（全利用件数 7,815 件）            内視鏡 26 件（全利用件数 2,312 件）            エコー 23 件（全利用件数 4,293 件）</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、地域医療連携室の職員が地元医療機関を訪問し、登録のメリットを積極的に PR しました。            （令和 4 年 3 月 31 日現在）            ・医療連携登録医 68 施設・83 名            ・協力医療機関連携施設 64 施設            ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 2,143 件、263 施設            （令和 2 年度 3,024 件、258 施設）</p> <p>地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、紹介された患者の受け入れに努めました。            また、病状の安定した患者の逆紹介を促進するため、紹介を受けた患者については紹介元へ逆紹介することに加え、紹介を受けていない患者についても、地域医療連携室を通して、患者と相談しながら、患者の住居の周辺の医療機関などへの逆紹介に努めました。</p> <p>・紹介率 24.9%            ・逆紹介率 13.6%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について            地域医療連携室の専任職員を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進しました。            地域医療連携室の専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行いました。            やまと西和ネットに参加し、同ネット参加医療機関及び介護事業所との患者情報の共有等連携に努めました。            生駒市医療介護連携ネットワーク協議会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により開催せず。            在宅医療介護推進部会は、地域医療連携室の職員が部会員として参加。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について            医師会への入会を目指し、毎月、市立病院の医療機能等の情報提供を続けました。            また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器の共同利用を実施しました。            市が開催する市内等医療機関との意見交換会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため上半期は開催せず。</p> <p>・医療機器の共同利用件数            MRI 139 件（全利用件数 1,373 件）            CT 60 件（全利用件数 4,260 件）            内視鏡 20 件（全利用件数 1,189 件）            エコー 27 件（全利用件数 2,323 件）</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、地域医療連携室の職員が地元医療機関を訪問し、登録のメリットを積極的に PR しました。            （令和 4 年 9 月 30 日現在）            ・医療連携登録医 68 施設・83 名            ・協力医療機関連携施設 65 施設            ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 690 件、252 施設            （令和 3 年度上半期 1,198 件、257 施設）</p> <p>地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、紹介された患者の受け入れに努めました。            また、病状の安定した患者の逆紹介を促進するため、紹介を受けた患者については紹介元へ逆紹介することに加え、紹介を受けていない患者についても、地域医療連携室を通して、患者と相談しながら、患者の住居の周辺の医療機関などへの逆紹介に努めました。</p> <p>・紹介率 25.4%            ・逆紹介率 11.6%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について            地域医療連携室の専任職員を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進しました。            地域医療連携室の専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行いました。            やまと西和ネットに参加し、同ネット参加医療機関及び介護事業所との患者情報の共有等連携に努めました。            生駒市医療介護連携ネットワーク協議会及び在宅医療介護推進部会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により下半期に開催予定。</p>

課題等	令和5年度 生駒市立病院 事業計画
<p>○令和3年度実施状況調査 地域医療の課題を共有し、また、市内の医師との顔の見える関係を構築することで、さらにスムーズな地域医療連携ができるよう、医師会への入会を目指します。</p> <p>●令和4年度中間報告 医療連携登録医を増やし、地域医療機関との病病・病診連携のさらなる推進を図るため、引き続き医師会への入会を目指す必要がある。</p> <p>【参考値】 R4年4月～R5年1月 ・医療機器の紹介利用件数 MRI 237件（全利用件数 2,339件） CT 105件（全利用件数 7,488件） 内視鏡 28件（全利用件数 2,122件） エコー 49件（全利用件数 4,062件）</p> <p>・紹介率 28.0% ・逆紹介率 12.9%</p> <p>（令和5年1月31日現在） 医療連携登録医 68施設・83名 協力医療機関連携施設 65施設 地域(市内)医療機関の市立病院利用率 76.4%</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について <u>医師会と地域医療の課題を共有し、顔の見える関係を構築することでスムーズな地域医療連携を推進します。</u>また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、引き続き、MRI、CT、内視鏡及びエコーの紹介利用を推進します。</p> <p>市が開催する市内等病院との意見交換会、奈良県が開催する地域医療に関する連絡会等に参加し、「顔の見える関係性」を深めるとともに、会議の場において、積極的に情報提供をします。</p> <p>・紹介利用件数（年間） MRI 250件 CT 120件 内視鏡 30件 エコー 60件</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、積極的にPRします。 （令和6年3月31日現在） ・医療連携登録医 70施設 ・協力医療機関連携施設 67施設</p> <p>地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、さらなる紹介率及び逆紹介率の向上を目指し、紹介された患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を必要に応じて地域の診療所に逆紹介します。</p> <p>・紹介率 35% ・逆紹介率 20%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員（看護師1名・メディカルソーシャルワーカー3名・事務職員2名）を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進します。専任職員が地元医療機関を積極的に訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行います。 やまと西和ネットの活用により、同ネット参加医療機関及び介護事業所との患者情報の共有等連携を強化するとともに、来院患者への同ネット参加を呼び掛けます。 市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、地域の医療機関や介護事業者など関係者間の連携強化を図ります。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業報告	令和 4 年度 中間報告																		
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○救急医療の充実 本地域における二次救急医療に対応できる中核病院の必要性から、内科系、外科系、小児科系の二次救急医療の充実を図る。</p> <p>●救急医療体制 市内の二次救急体制で中心的な役割を果たすことを目指し、内科系二次・外科系一次二次輪番体制へ参加するとともに、北和小児科二次輪番体制等への参加や休日夜間応急診療所のバックアップを行います。さらに、救急告示病院として、市消防本部救急隊との連携連絡を緊密にし、かつ直体制を開示し、24 時間体制での救急受け入れをします。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="108 817 499 1485"> <thead> <tr> <th>診療分野</th> <th>稼働内容</th> <th>稼働回数 (1 月あたり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科系</td> <td rowspan="2">市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加</td> <td>内科系 5 回</td> </tr> <tr> <td>外科系</td> <td>外科系 5 回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小児科</td> <td rowspan="2">奈良県北和小児科二次輪番体制への参加</td> <td>休日 2 回</td> </tr> <tr> <td>夜間 2 回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)</td> <td>10 回 (※1)</td> </tr> <tr> <td>産婦人科(※2)</td> <td>奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加</td> <td>10 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 現在、休日夜間応急診療所(メディカルセンター)で小児科医師が当直している火・木・土・日(うち火・木は 22:00~24:00 の当直)以外の曜日を小児一次救急担当日とし、開院当初は、当該担当日の月・水・金は 20 時から 24 時までは総合診療医を配置します。 ただし、開院後 3 年を目途に小児科医師を 1 名増員することで小児救急の充実を図ります。</p> <p>(※2) 産婦人科については、一次・二次診療を行います。産婦人科緊急手術、分娩、ハイリスク分娩に対応します。但し、未熟児分娩が予想される場合は NICU を有する北和三次救急施設と緊密な連携を取り迅速な対応をします。</p>	診療分野	稼働内容	稼働回数 (1 月あたり)	内科系	市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5 回	外科系	外科系 5 回	小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2 回	夜間 2 回		休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10 回 (※1)	産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10 回	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受入体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に努めました。</p> <p>奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施しました。</p> <p>また、新型コロナウイルス疑似症患者等の救急受入をしました。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急受入件数 2,015 件 (市内 1,047 件、市外 968 件)</li> <li>救急応需率 88.5%</li> </ul> <p>・市が開催する市内等医療機関との意見交換会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p> <p>・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き、関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たしました。</p> <p>・北和小児科二次輪番体制へ令和 3 年 10 月から参加しました。(月 1 回)</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科診療体制を整備しています。</p>	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受入体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に努めました。</p> <p>奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施しました。</p> <p>また、新型コロナウイルス疑似症患者等の救急受入をしました。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急受入件数 1,596 件 (市内 803 件、市外 793 件)</li> <li>救急応需率 81.9%</li> </ul> <p>・市が開催する市内等医療機関との意見交換会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため上半期は開催せず。</p> <p>・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き、関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たしました。</p> <p>・令和 3 年度に引き続き、北和小児科二次輪番体制へ月 1 回参加しています。</p> <p>・7/26 令和 4 年度第 1 回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科診療体制を整備しています。</p>
診療分野	稼働内容	稼働回数 (1 月あたり)																		
内科系	市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5 回																		
外科系		外科系 5 回																		
小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2 回																		
		夜間 2 回																		
	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10 回 (※1)																		
産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10 回																		

課題等	令和5年度 生駒市立病院 事業計画
<p>○令和3年度実施状況調査 市内の二次救急医療体制で中心的な役割を果たすために、市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制のバックアップなどの充実をより一層図る必要がある。</p> <p>●令和4年度中間報告 コロナ禍ではあるが市内の二次救急医療体制で中心的な役割を果たすという使命を達成するためにもより一層の救急応需率の向上が期待される。</p> <p>【参考値】 R4年4月～R5年1月 救急受入件数 2,780件 救急応需率 80.0%</p>	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24時間365日受入体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。 奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施します。 また、新型コロナウイルス疑似症患者及び陽性患者の救急受入をします。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急受入件数 2,000件</li> <li>・救急応需率 95.0%</li> </ul> <p>・市が開催する市内等病院との意見交換会、奈良県が開催する地域医療に関する連絡会等に参加し、救急医療体制の充実のため病病連携強化を図ります。</p> <p>・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き、<u>関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たします。</u></p> <p>・小児科の救急医療や入院医療の体制を充実させ、引き続き、奈良県と情報交換をしながら、北和小児科二次輪番体制に寄与します。</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科診療体制づくりを進めます。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業報告	令和 4 年度 中間報告										
<p>●救急に対する人員体制            医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとります。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="103 421 464 929"> <thead> <tr> <th></th> <th>人員体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常時</td> <td>内科系・外科系 医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制</td> </tr> <tr> <td>北和小児科 二次輪番日</td> <td>通常時当直体制 + 小児科医師 1 名の当直</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応 急診療所の バックアップ(小児科) 担当日</td> <td>通常時当直体制 + 総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置</td> </tr> <tr> <td>北和産婦人 科一次救急 当番日</td> <td>通常時当直体制 + 産婦人科医 1 名の当直</td> </tr> </tbody> </table>		人員体制	通常時	内科系・外科系 医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制	北和小児科 二次輪番日	通常時当直体制 + 小児科医師 1 名の当直	休日夜間応 急診療所の バックアップ(小児科) 担当日	通常時当直体制 + 総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置	北和産婦人 科一次救急 当番日	通常時当直体制 + 産婦人科医 1 名の当直	<p>○救急に対する人員体制            救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備するとともに、当直・オンコール体制のさらなる充実を図りました。</p> <p>(夜間救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制              各診療科専門医によるオンコール体制</li> <li>・外来看護師 2 名の当直</li> <li>・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直</li> <li>・臨床工学技士 オンコール体制</li> </ul>	<p>○救急に対する人員体制            救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備するとともに、当直・オンコール体制のさらなる充実を図りました。</p> <p>(夜間救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制              各診療科専門医によるオンコール体制</li> <li>・外来看護師 2 名の当直</li> <li>・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直</li> <li>・臨床工学技士 オンコール体制</li> </ul>
	人員体制											
通常時	内科系・外科系 医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制											
北和小児科 二次輪番日	通常時当直体制 + 小児科医師 1 名の当直											
休日夜間応 急診療所の バックアップ(小児科) 担当日	通常時当直体制 + 総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置											
北和産婦人 科一次救急 当番日	通常時当直体制 + 産婦人科医 1 名の当直											
<p>●診療科毎の対応レベル</p> <table border="1" data-bbox="103 1014 485 1848"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>対応レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>外科・ 整形外科・ 脳神経外科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>小児科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可</td> </tr> <tr> <td>産婦人科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)</td> </tr> </tbody> </table>	診療科	対応レベル	内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)	外科・ 整形外科・ 脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)	小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可	産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて            休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続しました。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を維持しました。            産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き、奈良県総合医療センターとの連携体制が確立しています。</p>	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて            休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続しました。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を維持しました。            産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き、奈良県総合医療センターとの連携体制が確立しています。</p>
診療科	対応レベル											
内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)											
外科・ 整形外科・ 脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)											
小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可											
産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)											



課題等	令和5年度 生駒市立病院 事業計画
<p>○令和3年度実施状況調査 整形外科・脳神経外科の常勤医師の確保・増員に努め、外傷患者等への救急受入が可能な体制を整備する必要がある。</p> <p>●令和4年度中間報告 外傷患者等への救急受入が可能な体制の整備に向け、整形外科、脳神経外科の常勤医師を確保する必要がある。</p>	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。<u>特に整形外科等の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。</u></p> <p>(夜間救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師 1名の時間外担当医及び1名の常勤当直医の2名体制 各診療科専門医によるオンコール体制</li> <li>・外来看護師 2名の当直</li> <li>・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各1名の当直</li> <li>・臨床工学技士 オンコール体制</li> </ul> <p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAGによる心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を充実します。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き、奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業報告	令和 4 年度 中間報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○小児医療の充実 本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。</p>	<p>小児の入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。</p> <p>○小児医療体制について ・平成 30 年 1 月、令和 2 年 7 月に着任した常勤医師に加えて、令和 3 年 4 月にさらに常勤医師を確保し、常勤医師 3 名体制になりました。 ・北和小児科二次輪番体制へ令和 3 年 10 月から参加しました。(月 1 回)</p>	<p>小児の入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。</p> <p>○小児医療体制について ・令和 4 年 4 月にさらに常勤医師を確保し、常勤医師 4 名体制になりました。 ・令和 3 年度に引き続き、北和小児科二次輪番体制へ月 1 回参加しています。</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○災害時医療の確保 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確保する。</p>	<p>大規模災害時における、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制整備に引き続き努めました。</p> <p>○災害時医療体制の確立について ・11/26 消防訓練実施 38 名参加 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・防災訓練は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p>	<p>大規模災害時における、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制整備に引き続き努めました。</p> <p>○災害時医療体制の確立について ・消防訓練・防災訓練 下半期実施予定</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○予防医療の啓発 市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど、市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。</p> <p>●疾病予防機能の強化について 疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定例的に開催します。(講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等病院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。) また、市民健診や予防接種について、市医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民との交流、健康づくりを推進するため、コロナ禍において、オンライン形式での医療講演会を定期的開催しました。 ・医療講演会 (オンライン) 40 講座 参加者 736 名</p> <p>・市民健診 大腸がん検診 204 件 胃がん(胃内視鏡)検診 55 件 乳がん検診 240 件 子宮頸がん検診 262 件 肝炎ウイルス検診 23 件 特定健診 852 件 一般健診 1,507 件 生活保護者等の健康診査 14 件 人間ドック・脳ドック 1,689 件 その他団体健診等 1,744 件</p> <p>・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 579 件 肺炎球菌 74 件</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民との交流、健康づくりを推進するため、コロナ禍において、オンライン形式での医療講演会を定期的開催しました。 ・医療講演会 20 講座 参加者 305 名 (内、生駒市医師会や自治会等各種団体への出張講座 3 講座 参加者 71 名含む)</p> <p>・市民健診 大腸がん検診 83 件 胃がん(胃内視鏡)検診 32 件 乳がん検診 123 件 子宮頸がん検診 114 件 肝炎ウイルス検診 7 件 特定健診 415 件 一般健診 839 件 生活保護者等の健康診査 10 件 人間ドック・脳ドック 929 件 その他団体健診等 1,646 件</p> <p>・高齢者定期予防接種 肺炎球菌 35 件 (令和 3 年度上半期 36 件) ・小児定期予防接種 278 件</p>

課題等	令和5年度 生駒市立病院 事業計画																																																																																		
<p>○令和3年度実施状況調査 北和小児科二次輪番体制の当番回数を増やす等、地域の小児救急医療に対して、さらに貢献する必要がある。</p> <p>●令和4年度中間報告 北和小児科二次輪番体制の当番回数の増加に加え、医療的ケア児の大規模災害時等の一時受け入れなど地域の小児救急医療に対して、さらに貢献する必要がある。</p>	<p>小児の救急対応、入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の充実を図ります。</p> <p>○小児医療体制について 小児科の救急医療や入院医療の体制を充実させ、引き続き、奈良県と情報交換をしながら、北和小児科二次輪番体制に寄与します。</p>																																																																																		
<p>○令和3年度実施状況調査 防災訓練を行う際には大規模災害を想定し、市災害対策本部、医師会災害対策本部や地元自治会と連携協力体制で実施する必要がある。</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。 生駒市災害対策本部及び生駒市医師会災害対策本部と緊密な連携協力体制の下、市内4病院とともに後方支援病院として災害時医療を担います。</p> <p>○災害時医療体制の確立について 災害対策マニュアルに沿って現場スタッフや、<u>地域住民も参加する実地訓練を行います。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練)</li> <li>・防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練・机上訓練)</li> </ul> <p>市が開催する市内等病院との意見交換会、奈良県が開催する地域医療に関する連絡会等に参加し、病病連携強化を図ります。</p>																																																																																		
<p>さらなる市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民の健康づくりや疾病予防を促進するため、院内講演の充実に加え、自治会等各種団体への出張講座を積極的に実施します。 市民の幅広い年代層が健診を受けやすくするよう努めます。 乳幼児への定期予防接種を引き続き実施します。</p> <p>【参考値】 R4年4月～R5年1月</p> <table border="0"> <tr> <td>・市民健診</td> <td></td> <td>・市民健診</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  大腸がん検診</td> <td>180件</td> <td>  大腸がん検診</td> <td>220件</td> </tr> <tr> <td>  胃がん(胃内視鏡)検診</td> <td>58件</td> <td>  胃がん(胃内視鏡)検診</td> <td>70件</td> </tr> <tr> <td>  乳がん検診</td> <td>226件</td> <td>  乳がん検診</td> <td>270件</td> </tr> <tr> <td>  子宮頸がん検診</td> <td>201件</td> <td>  子宮頸がん検診</td> <td>290件</td> </tr> <tr> <td>  肝炎ウイルス検診</td> <td>14件</td> <td>  肝炎ウイルス検診</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>  特定健診</td> <td>862件</td> <td>  特定健診</td> <td>900件</td> </tr> <tr> <td>  一般健診</td> <td>1,357件</td> <td>  一般健診</td> <td>1,500件</td> </tr> <tr> <td>  生活保護者等の健康診査</td> <td>10件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  人間ドック・脳ドック</td> <td>1,677件</td> <td>  人間ドック・脳ドック</td> <td>1,800件</td> </tr> <tr> <td>  その他団体健診等</td> <td>1,860件</td> <td>  その他団体健診等</td> <td>2,100件</td> </tr> <tr> <td>・高齢者定期予防接種</td> <td></td> <td>・高齢者定期予防接種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  インフルエンザ</td> <td>697件</td> <td>  インフルエンザ</td> <td>700件</td> </tr> <tr> <td>  肺炎球菌</td> <td>46件</td> <td>  肺炎球菌</td> <td>70件</td> </tr> <tr> <td>・小児定期予防接種</td> <td>531件</td> <td>・小児定期予防接種</td> <td>600件</td> </tr> </table>	・市民健診		・市民健診		大腸がん検診	180件	大腸がん検診	220件	胃がん(胃内視鏡)検診	58件	胃がん(胃内視鏡)検診	70件	乳がん検診	226件	乳がん検診	270件	子宮頸がん検診	201件	子宮頸がん検診	290件	肝炎ウイルス検診	14件	肝炎ウイルス検診	25件	特定健診	862件	特定健診	900件	一般健診	1,357件	一般健診	1,500件	生活保護者等の健康診査	10件			人間ドック・脳ドック	1,677件	人間ドック・脳ドック	1,800件	その他団体健診等	1,860件	その他団体健診等	2,100件	・高齢者定期予防接種		・高齢者定期予防接種		インフルエンザ	697件	インフルエンザ	700件	肺炎球菌	46件	肺炎球菌	70件	・小児定期予防接種	531件	・小児定期予防接種	600件	<p>さらなる市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民の健康づくりや疾病予防を促進するため、院内講演の充実に加え、自治会等各種団体への出張講座を積極的に実施します。 市民の幅広い年代層が健診を受けやすくするよう努めます。 乳幼児への定期予防接種を引き続き実施します。</p> <p>・市民健診</p> <table border="0"> <tr> <td>  大腸がん検診</td> <td>220件</td> </tr> <tr> <td>  胃がん(胃内視鏡)検診</td> <td>70件</td> </tr> <tr> <td>  乳がん検診</td> <td>270件</td> </tr> <tr> <td>  子宮頸がん検診</td> <td>290件</td> </tr> <tr> <td>  肝炎ウイルス検診</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>  特定健診</td> <td>900件</td> </tr> <tr> <td>  一般健診</td> <td>1,500件</td> </tr> <tr> <td>  人間ドック・脳ドック</td> <td>1,800件</td> </tr> <tr> <td>  その他団体健診等</td> <td>2,100件</td> </tr> </table> <p>・高齢者定期予防接種</p> <table border="0"> <tr> <td>  インフルエンザ</td> <td>700件</td> </tr> <tr> <td>  肺炎球菌</td> <td>70件</td> </tr> </table> <p>・小児定期予防接種 600件</p>	大腸がん検診	220件	胃がん(胃内視鏡)検診	70件	乳がん検診	270件	子宮頸がん検診	290件	肝炎ウイルス検診	25件	特定健診	900件	一般健診	1,500件	人間ドック・脳ドック	1,800件	その他団体健診等	2,100件	インフルエンザ	700件	肺炎球菌	70件
・市民健診		・市民健診																																																																																	
大腸がん検診	180件	大腸がん検診	220件																																																																																
胃がん(胃内視鏡)検診	58件	胃がん(胃内視鏡)検診	70件																																																																																
乳がん検診	226件	乳がん検診	270件																																																																																
子宮頸がん検診	201件	子宮頸がん検診	290件																																																																																
肝炎ウイルス検診	14件	肝炎ウイルス検診	25件																																																																																
特定健診	862件	特定健診	900件																																																																																
一般健診	1,357件	一般健診	1,500件																																																																																
生活保護者等の健康診査	10件																																																																																		
人間ドック・脳ドック	1,677件	人間ドック・脳ドック	1,800件																																																																																
その他団体健診等	1,860件	その他団体健診等	2,100件																																																																																
・高齢者定期予防接種		・高齢者定期予防接種																																																																																	
インフルエンザ	697件	インフルエンザ	700件																																																																																
肺炎球菌	46件	肺炎球菌	70件																																																																																
・小児定期予防接種	531件	・小児定期予防接種	600件																																																																																
大腸がん検診	220件																																																																																		
胃がん(胃内視鏡)検診	70件																																																																																		
乳がん検診	270件																																																																																		
子宮頸がん検診	290件																																																																																		
肝炎ウイルス検診	25件																																																																																		
特定健診	900件																																																																																		
一般健診	1,500件																																																																																		
人間ドック・脳ドック	1,800件																																																																																		
その他団体健診等	2,100件																																																																																		
インフルエンザ	700件																																																																																		
肺炎球菌	70件																																																																																		

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業報告	令和 4 年度 中間報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○市民参加による運営 条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。</p>	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進しました。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み グループ全体で実施した令和 2 年度入院・外来患者アンケート調査の結果について、令和 3 年 4 月のホームページ更新に合わせて公表しました。 さらに、ご意見箱の内容に対して、対応が必要な案件については、迅速に対応しました。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査については、市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、次年度の事業計画作成時に反映させる予定です。</p> <p>・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。 (回答総数 632 件)</p> <p>&lt;健康フェスティバル&gt; 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p> <p>&lt;院内コンサート&gt; 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p>	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進しました。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み グループ全体で実施した令和 3 年度入院・外来患者アンケート調査の結果について、令和 4 年 6 月のホームページ更新に合わせて公表しました。 さらに、ご意見箱の内容に対して、対応が必要な案件については、迅速に対応しました。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査については、市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、次年度の事業計画作成時に反映させる予定です。</p> <p>・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。 (回答総数 241 件)</p> <p>&lt;健康フェスティバル&gt; 11 月 6 日(日)開催予定</p> <p>&lt;院内コンサート&gt; 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため上半期は開催せず。</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○環境に配慮した運営 新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムである ISO (国際標準化機構) 14000 シリーズの認証取得を目指す。</p>	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進しました。</p> <p>・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化しました。</p> <p>・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化の啓発を図りました。</p>	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進しました。</p> <p>・ミックスペーパー等資源ごみの分別回収を強化しました。</p> <p>・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化の啓発を図りました。</p>

課題等	令和5年度 生駒市立病院 事業計画
	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み  入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見及び対応について、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告等、広く市民等に周知します。  また、年度事業報告書に係る実施状況調査（中間報告を含む）について市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、年度事業計画に反映します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院事業推進委員会</li> <li>・市立病院管理運営協議会</li> <li>・入院・外来患者アンケート調査</li> <li>・ご意見箱の内容に対する対応</li> </ul> <p>○市民交流事業について  市立病院を市民に親しみを感じてもらうために、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況をみながら、市民交流事業を開催します。</p> <p>（主な市民交流事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康フェスティバル（11月頃開催予定）</li> <li>・院内コンサート</li> </ul>
	<p>引き続き、市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミックスペーパー等資源ごみの分別回収を強化します。</li> <li>・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。</li> </ul>

# 収支

(単位：千円)

令和4年度事業計画		令和5年度事業計画		前年度との差額	
医業収入	4,221,270	医業収入	4,689,580	医業収入	468,310
医業費用	4,133,906	医業費用	4,373,963	医業費用	240,057
医業利益	87,364	医業利益	315,617	医業利益	228,253
その他費用	250,272	その他費用	265,366	その他費用	15,094
医業外収益	20,000	医業外収益	0	医業外収益	△ 20,000
医業外費用	0	医業外費用	0	医業外費用	0
経常利益	△ 142,908	経常利益	50,251	経常利益	193,159